

2008年4月18日

株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 阪口 克彦
(証券コード番号: 2321)

問い合わせ先: 取締役財務・管理統括担当
佐藤 健太郎
電話番号: 03-3568-7007

特別損失の発生ならびに平成20年3月期通期業績予想修正に関するお知らせ

当社は平成20年3月期の決算において、保有する投資有価証券のうち、その価値が著しく下落し、その回復が困難であると認められたものについて、減損処理による投資有価証券評価損を特別損失に計上する必要性が生じたこと、及び貸付先の財政状態の悪化に伴う引当金繰入額を特別損失に計上する必要性が生じたことから、その概要についてお知らせするとともに、平成20年2月8日に公表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日~平成20年3月31日)通期業績予想を修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期末の投資有価証券評価損の総額

(A)平成20年3月期末の有価証券評価損の総額		154百万円
(B)平成19年3月期の純資産の額	(A/B×100)	1,453百万円(10.6%)
(C)最近5事業年度の経常利益額の平均(注)	(A/C×100)	22百万円(676.9%)
(D)最近5事業年度の当期純利益額の平均(注)	(A/D×100)	27百万円(572.2%)

(注) 損失を計上している事業年度はゼロとして算定しております。

投資有価証券評価損154百万円は、平成18年8月に取得いたしましたfg microtec社の出資持分の評価損です。同社の直近の状況に基づき検討した結果、減損処理を行い、特別損失として投資有価証券評価損154百万円を計上する予定であります。

2. 引当金繰入額の特別損失計上について

引当金繰入額31百万円は、fg microtec社への貸付金に対する引当金であり、同社の直近の状況に基づき検討した結果、貸付金に対する引当額を全額設定し、引当金繰入額31百万円を特別損失として計上する予定であります。

3. 当期の業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

通期

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
前回発表予想（A）	700	185	190	175	2,028円 47銭
今回修正予想（B）	674	173	173	338	3,917円 84銭
増減額（B - A）	26	12	17	163	1,889円 37銭
増減率（%）	3.7%	-	-	-	-
（ご参考） 前期実績 （平成 19 年 3 月期）	961	46	44	42	492円 78銭

4. 修正の理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては、最近の業績動向を踏まえ修正いたしました。

当期純利益につきましては、最近の業績動向に加え 1 の「平成 20 年 3 月期末の有価証券評価損の総額」と 2 の「引当金繰入額の特別損失計上について」のとおり、fg microtec 社出資持分の評価損 154 百万円及び引当金繰入額 31 百万円の特別損失の計上による影響も考慮し、修正いたしました。

以上